

2017年度 JTA組手ランキング・ベスト7

第28回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 組手選抜者及び推薦出場者発表

2017年10月3日

日本テコンドー協会

宗師範 河 明生

2017年度、JTA組手ランキング・ベスト7を定め、  
第28回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会・組手無差別級の選抜出場及び推薦出場選手を発表する。  
本大会男子組手A級は、第16回全日本FT大会以前のレベルに戻った前大会よりもレベルが上がっている。  
前大会よりも、さらなる蹴美の激戦が期待される。

言記

選手名	段位	所属	年齢	身長/体重	出身地	選抜基準
八幡直明	初段	東京中野TC	29	179/80	横浜	全日本FT大会男子無差別級A級 優勝 横浜大会一部無差別級 優勝

1, 組手ベスト7 (JTA男子組手ランカー。第28回全日本FT大会男子無差別級組手出場権獲得者)

第1位	倉田剛志	二段	千葉柏TC	37	186/89	北海道函館	全日本FT大会男子無差別級A級 2位 湘南大会一部無差別級 優勝 関東大会一部重量級 優勝
第2位	鈴木雅博	初段	湘南平塚TC	30	167/66	神奈川二宮	全日本FT大会男子無差別級A級 3位 神奈川大会一部無差別級 優勝
第3位	中澤 友	初段	大阪弁天町TC	26	178/66	大阪	関西大会一部重量級 優勝 中国大会一部無差別級優勝

第4位 鈴木祐司 初段 湘南平塚TC 32 173/62 神奈川平塚 関西大会一部中量級 優勝  
横浜大会一部軽中量級 優勝

第5位 霜倉 亮 三段 神戸六甲TC 36 174/77 関西大会一部中重量級 優勝

第6位 寺田皓成 神奈川大学横浜体育会 20 東京大会一部中重量級 優勝

第7位 秀崎康隆 初段 福岡筑紫野TC 33 173/73 福岡秋月 長崎大会一部無差別級優勝

## 2、アンダー7 その1 (予選会優勝に基づく全日本大会出場権獲得者)

第8位 辻 陽介 二段 愛知大府TC 32 171/60 関西大会一部軽量級 優勝

## 3、アンダー7 その4 (JTA倶楽部活性化政策等に基づく全日本大会推薦出場者)

第9位 高田憲利 二段 岡山鏡野TC 38 170/68 岡山鏡野 関西大会一部中量級 2位

第10位 吉場亮介 初段 横浜白楽TC 25 181/70 横浜

第11位 西岡 健 二段 渋谷TC 37 173/75 神奈川相模原

第12位 西本暢暁 初段 横浜市大体育会 24

### 備考

- 1、ランキング選定基準 前年度全日本FT大会および予選会における順位を前提としながら、
  - ①本年度予選会のレベル(激戦度)
  - ②ランカーは優勝時における試合内容
  - ③本年度予選会における直接対決の勝敗
  - ④本年度予選会における試合内容を基準とした。

## 2, 推薦出場選手選考および注意

- ① J T Aは、J T Aの運営上、持続的にボランティアで貢献した選手や持続的に努力した選手が、全日本F T大会に出場できるよう配慮する団体である。  
実力が十分でなくても、クラブ長等の持続的功労や持続的に予選会に挑戦する精神は評価に値するので推薦した。
- ② 推薦選手は、客観的に「フルコンタクト・テコンドー力」が足りないことを冷静に自覚しなければならない。  
自己責任かつ死ぬかも知れないことを認識し、残存期間、フルコンタクト・テコンドーの修行を最優先し、防御能力を高めなければならない。
- ③ 予選会において優勝していたとしても、A級への出場は危険と判断した選手は掲載していない。  
A級はレベルが高く、無差別級であり、かつノー・ヘッドギアである。死亡事故等を回避するためである。  
予選会において優勝している選手は、全日本大学大会後に発表されるB級ランキングへ掲載する。

## 3, 選考外選手

予選会入賞者であっても

- ① 引退・退会している選手、
- ② 大学卒業後、一度も予選会に参加していない選手、  
は除外している。

## 4, その他

- ① 関東圏の選抜男子選手は、総見に参加しなければならない。  
参加しない場合は、公的職業特例等以外は出場権を取り消す場合がある。
- ② 推薦出場されたが、これを辞退した場合、いかなる理由があろうとも来年度以降、推薦出場の対象者とはならない。  
潔く現役を引退することを薦める。